

公表： 令和6年 3月 29日

事業所名学童シーランチ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			構造化を職員会議等で話し合い毎日の人数、活動内容を確認してスペースの工夫をしてみた。	動きのある活動と椅子に座ってする活動にスペースを分けたりグループに分けて活動を行う事で動きのある活動もスペースをしっかりと確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			子ども達の安全を考えながら配置した。	職員配置は、規定の基準配置よりも多く配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子を利用している子がいるので安全や転倒防止の配慮を行った	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議等で話し合いをしていく	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎月の面談や家庭訪問、アンケート等を把握していきながら業務改善に努める	面談、相談支援、グループカウンセリング、個別カウンセリングなどでニーズを聴き取りしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者評価を行い、業務改善につなげている	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内、外部研修を行い研修の機会を確保している。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援会議等を行いサービス計画を細かく行っている。変更等があるときは保護者等も話し合いを行っていく	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人全体で共通した一つづつを使用してる	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で相談確認を行いながら進めてる	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動が続けて行わないように心がける	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間の長さによって出来る活動を増やしている	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状態や家族状況に合わせて臨機応変に対応してる	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングでその日の役割をセットアップしてる	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動に振り返りを毎日行っている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			職員間で偏らないように担当日を決めている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に見直しを行っている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			がくぶり等を使って年間計画や行事計画、毎週の確認を行っている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアのある子は看護師が配置しているクラスがあるのでそこを紹介している	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			地域との関係調整をする、地域支援の部署が法人にあり、その職員が情報共有や連携をしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内に児童発達支援センターがあるので、連携して、助言や研修を受けています。	継続して、センターと連携し、助言や研修を受けていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域の公園で、児童クラブ等の子ども達と一緒に遊具で遊んだりしています。また、職員は見守り安全を守っています。	コロナ感染予防もあり積極的に交流することはなかったが、感染状況を見て今後検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話連絡、事業所内相談等で、こまめに情報共有しています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			CSPを用いて、ペアレントトレーニングをしている。特に、グループカウンセリングの前に行っています。	引き続き、参加の声掛けを行っていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			24時間相談できる緊急携帯や、普段から保護者様と面談や電話連絡を行い必要な支援を行っています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			むぎのこパパの会、保護者主催のフリースクールなど、連携や連絡をとっています。	保護者同士の連携を、引き続き、支援していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情は保護者の貴重な意見と捉えて真摯に対応しています。取り組んでいます。苦情処理委員会も法人内に組織されています。	利用者、保護者の気持ちに寄り添い、早急に対応し、クラス職員全員で徹底して対応していきます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報、クラスだより、ホームページなどにより、行事や活動などの情報発信に努めています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報などの書類は、鍵のかかる書類庫に保管している。マニュアル化されており、法人で徹底しています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			実際のコミュニケーションや会話に加えて、電話、メールなどやり取りしています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			除雪等のサポートを法人で行っています。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			面談等で周知を行っています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回の避難訓練に加えて、地域の小学校への大避難訓練を行行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の虐待防止員会で研修や啓発活動を行っています。また、週1回アンガーマネジメントの研修を行い、イライラした時に、その場を他の職員に任せて離れ、落ち着く行動をする練習をしています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画作成の際に、保護者に周知し、説明、同意を受けています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず、医師の指示書を提出してもらっています。	変化等を保護者等を面談していきなが指示書の提出をお願いしています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でヒヤリハットを集め、そのことで委員会が開かれ、再発防止に取り組んでいます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。